

営業収益は、ショッピングクレジット事業や決済事業における安定的な成長や、カードのリボ残高や住関連ローン残高の増加による収益の積み上げなど全部門で増収となり、536億円(前年同期比5.6%増)。営業費用は、トップライン強化に係る費用の増加や営業債権残高の増加に伴う貸倒引当金繰入額の増加などにより、467億円(同5.9%増)。この結果、経常利益は76億円(同7.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は73億円(同23.0%増)と増益。

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2015		FY2016		FY2016業績予想*	
		3Q累計	3Q累計	前年同期比	通期	進捗率	
1	営業収益	508	536	5.6%	700	76.7%	
2	営業費用	441	467	5.9%			
3	販売費及び一般管理費	423	448	5.8%			
4	人件費・物件費等	359	380	5.8%			
5	クレジットコスト	63	67	5.5%			
6	貸倒引当金繰入額	63	67	5.5%			
7	利息返還損失引当金繰入額	-	-	-			
8	金融費用	18	19	8.1%			
9	営業利益	66	69	3.4%	100	69.1%	
10	経常利益	70	76	7.6%	100	76.3%	
11	親会社株主に帰属する四半期純利益	59	73	23.0%	90	81.7%	

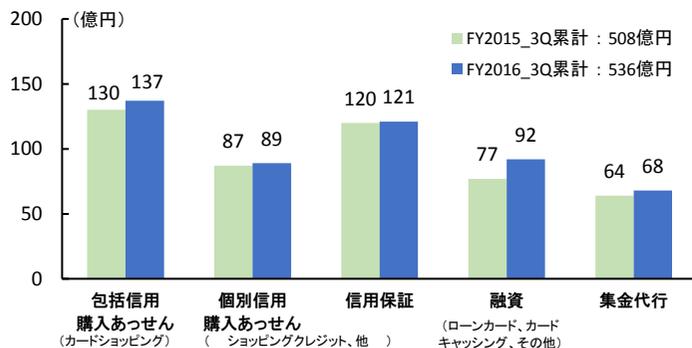
*2016年5月11日公表

<アプラスグループ 各事業のトピックス>

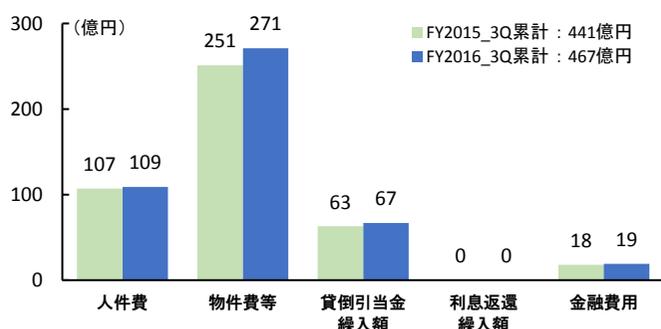
- (カード事業)
- ・ポイント高還元カード「アプラスアクセス」シリーズ、富裕層向け「Luxury Card(ラグジュアリーカード)」発行開始、興信信用金庫、ドイツ・ブンデスリーガのポルシア・ドルトムントと提携
- (ショッピングクレジット事業)
- ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大、「Tポイント付きショッピングクレジット」推進継続
 - ・新生銀行グループの昭和リースと連携し、ベンダーリース事業を開始
- (決済事業)
- ・中国人向け決済サービス「WeChat Pay」の日本での決済代行サービス開始、利用店舗網の迅速な構築
 - ・EC事業者向け総合決済ソリューションサービス「アプラスペイメントサービス『e-ゲート』」提供開始
- (ローン事業)
- ・首都圏を中心とした優良な中古ワンルームマンション等対象の投資用マンションローン残高の積み上げ

2. 部門別営業収益

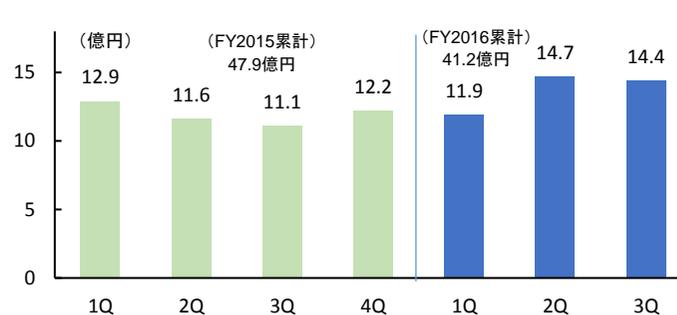
※グラフには金融・その他収益を含まないため、合計と一致しない



3. 営業費用内訳

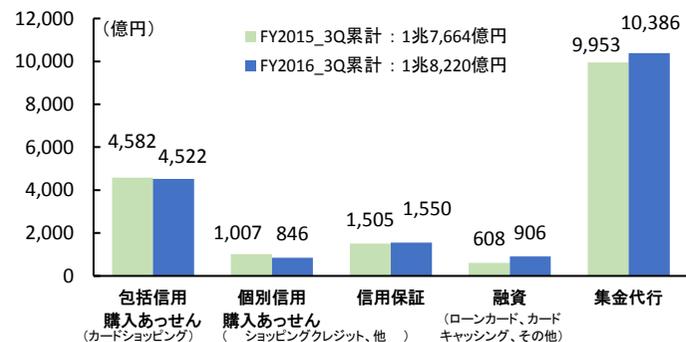


4. 利息返還実績四半期推移



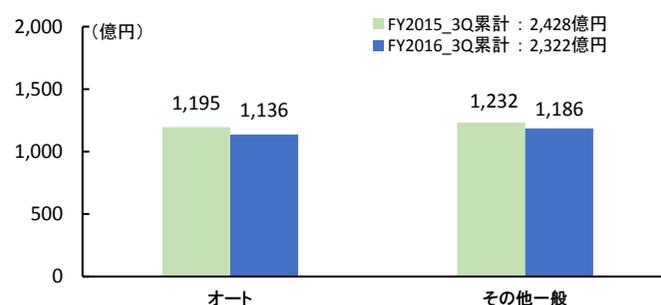
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あつせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

